

September 18, 2019

1. はじめに
2. コンジョイント分析

# 複合要因を考慮した 内示生産システムのブルウェイップ効果

横井 稜

富山県立大学 情報基盤工学講座

# はじめに

2/5

## 進捗状況

1. はじめに
2. コンジョイント分析

- ① プログラムは未完成**
- ② 直交表による実験でブルウィップ効果を出した後の部分効用値の出し方を説明する**

# コンジョイント分析

## コンジョイント分析

1. はじめに
2. コンジョイント分析

- ① 商品の総合評価をする時、すなわち消費者が複数の商品から 1 つを選ぶ場合、それぞれの評価項目がどの程度目的変数（購入度合）に影響を与えてるかを明らかにする分析手法
- ② 自分の場合は数量化 1 類と同じ解析方法

数量データ

	価格	駅からの時間	駐車場有無	得点評価
カード1	1	1	1	6.00
カード2	1	0	0	5.50
カード3	0	1	0	4.75
カード4	0	0	1	4.50



数量データ

重回帰分析

説明変数名	回帰係数
価格	1.1250
駅からの時間	0.3750
駐車場有無	0.1250
定数項	4.3750



# コンジョイント分析

数量データ		↓		数量データ	
	価格	駅からの時間	駐車場有無	得点評価	
カード1	1	1	1	6.00	
カード2	1	0	0	5.50	
カード3	0	1	0	4.75	
カード4	0	0	1	4.50	

重回帰分析	
説明変数名	回帰係数
価格	1.1250
駅からの時間	0.3750
駐車場有無	0.1250
定数項	4.3750

説明変数名		回帰係数	①	②	③	④	①-③
説明変数名		回帰係数	n	加重平均			
価格	3500万円未満	1.125					0.5625
	3500万円以上	0.000					-0.5625
駅から の時間	5分未満	0.375					0.1875
	5分以上	0.000					-0.1875
駐車場	有り	0.125					0.0625
	無し	0.000					-0.0625
定数項		4.375					
得点の全体平均		5.1875					
加重平均:【例.価格】 $(1.125 \times 2 + 0.0 \times 2) \div 4 = 0.5625$							

図 2 コンジョイント分析例 2

# コンジョイント分析

1. はじめに
2. コンジョイント分析



項目名	レンジ	寄与率
価格	1.125	69%
駅からの時間	0.375	23%
駐車場有無	0.125	8%
合計	1.625	100%

No.	実績値	サンプル スコア	残差
1	6.00	6.00	0.0
2	5.50	5.50	0.0
3	4.75	4.75	0.0
4	4.50	4.50	0.0

決定係数 1.0000

<名称対応表>

数量化1類		コンジョイント分析	
カテゴリー スコア	↔	部分効用値	
寄与率	↔	重要度	
サンプルスコア	↔	全体効用値	

図 3 コンジョイント分析例 3